

## 聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

→**2**ダイナミックな多角的、立体構造：

神の視点、人類史に先立って配備された摂理、歴史、物事の背後に神意 [偶然はない]

→**3**古代ヘブル（イスラエル）史を通して記された正確な人間史：

過去（史実）を学び、現在を見分け、未来を見通す洞察力習得のテキスト

## 使徒パウロの宣教

## その19

## 『コリント人への手紙第一』

## 12章

：1「…御霊の賜物…ぜひ次のことを知っていただきたいのです」（下線付加）：

\*「恵みの賜物」‘χάρισμα（カリスマ）’と同義

\*二つの間違い：①御霊の賜物を無視 ②ある特定の賜物を過度に強調

：3「…聖霊によるのでなければ、だれも、『イエスは主です』と…」（下線付加）：

\*‘Κυριός（キュリオス）’、ローマ皇帝の公的な称号、一この世の支配者、王一の意

\*キリスト昇天後のペンテコステの日、ユダヤ人回心者はイエスを

主、また、キリスト（救い主）として受け入れた

\*「イエスは主」という告白、キリスト信仰の最古の信条の一つ

→キリストの本質を正しく知ることが重要！

## 九つの御霊の賜物

1. 知恵
2. 知識
3. 信仰：「救われるための信仰」ではなく、神の奇蹟のご介入に対する絶大な信頼
4. 癒し
5. 奇蹟
6. 預言
7. 霊の見分け
8. 異言
9. 異言の解釈

## 12-27節

☆キリストのからだを構成する部分はすべてが不可欠

☆キリストとご自分の民は「一つ」

☆キリストは、ご自分に従う者に聖霊による洗礼を授けられる

☆パウロ、教会の結束を強調

☆聖霊による内なる変化は人々をキリストとの生ける関係に導く

☆すべての信徒が「生ける水」に与る

☆この文脈での意図は、特定の御霊の賜物に対する羨みの根絶

☆賜物を共有し合うため、各々が他の賜物を受けた人を必要とする！

☆教会の中で、だれも無視されてはならない

☆主からの賜物は、他の信徒に対する愛、寛容、忍耐を生み出す

☆個々の信徒はキリストのからだを建て上げるための構成部員

## 聖書

28-31節

### 教会の中での重要な役割

1. 使徒 2. 預言者 3. 教師

#### 使徒

☆イエス・キリストの地上でのミニストリーにともに携わった者

☆主の甦りの目撃者

☆パウロ、バルナバもキリストの使徒

#### 賜物に関して銘記すべきこと

☆教会の結束を促進するためのもの

★特定の賜物重視は「キリストのからだ」に分裂を引き起こす

☆28-30節は、賜物を競ったコリントの教会の人々に対する警告

: 31 「…賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまさる道を示してあげましょう」:

\*パウロ、「賜物の実践以上に大切な、もっと優れた道を示そう」と言い、

13章で「愛」—御霊の実—を導入

→ガラテヤ人5:22-23

#### 今日、霊の賜物はもうすたれたのだろうか?

1) 聖霊は不変

2) これらの賜物の授与が初代教会の時代だけでももう終わった、とはどこにも書かれていない

→これらの賜物、使徒の働きとともに始まり、世の終わりまで続く!

#### ペテロの宣言

☆約束の聖霊降臨の出来事をペテロ、預言者ヨエルが預言したことの「始まり」として解釈

## 13章

### 人に必要な神の愛

☆人は「愛」を間違ったところに探している

★「もし…」との条件付きは、虚偽の愛

☆13章は私たちを、全く違った類の愛、「ἀγάπη アガペー」' —神の無条件の愛—へと導く

#### 愛

☆エロス

異性間の官能的愛

☆フィレオー

友人間の愛、友情

☆アガペー

★価値の有無に関わらず、相手に注ぎ込まれる愛

★愛する者の性質から派生する愛

★この愛は献身で、感情ではない

: 1-2 「…私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら…シンバルと同じ」:

\*愛こそ、信徒の心を占め、治める主権者であるべき

\*キリストに従う者たち、実を实らせるために賜物を熱心に求めるべき

#### 預言

①神のことを宣言する

②天の言葉を地で実らせるためにもたらず

③永遠をこの世の「とき」にもたらず

#### 愛がなくても…預言は可能

☆異端の予言者バラムの預言、三千五百年間、真実 →民数記22-24章

「見よ。この民はひとり離れて住み、諸国民の間で認められないであろう」 (欽定訳)

☆大祭司カヤパ

→ヨハネ11:49-50

## 聖書

### 奥義

☆神の秘義

☆「**神の奥義の管理者**」パウロと同労者ら、神の知恵、預言を語った

→2:7 4:1

: 3「**また、たとい…貧しい人たちに分け与え…愛がなければ、何の役にも立ちません**」:

\*パウロ、愛のない、しかし、素晴らしい施しを格下げ

4-7節

### 愛の十四の構成要素

1) 寛容

☆不当に取り扱われても、神の愛は忍耐強く、寡黙

2) 親切

☆裏切ったユダに対するキリストの応対に反映

3) ねたまない

☆他の人たちの最善を喜ぶ

4) 自慢しない

☆使用ギリシャ語は「おしゃべり」を暗示

☆控える

5) 高慢にならない

☆知識は思い上がるが、愛は築き上げる

☆愛は、純粋な謙遜

6) 礼儀に反することをしない

☆無礼、無思慮、無頓着では決してない

7) 自分の利益を求めない

☆自分中心の愛を締め出す

☆パウロ自身、実践し、信徒に他人の福利を求めることを奨励

8) 怒らない

☆キリスト、ご自分に向けられた悪に怒ったり、復讐したりされなかった

9) 人のした悪をいつまでも覚えない

☆用語は「悪の記録を保たない」の意

→信徒の記憶の焦点は受けた親切に置かれるべき!

10) 不正を喜ばず、真理を喜ぶ

☆他の人たちの徳、善を喜ぶ

11) すべてを我慢する

☆用語は「覆う」の意

☆キリストは父に、ご自分を十字架にかけた罪人を「赦してください」と執り成し、  
罪人の罪はキリストの愛の贖いによって覆われた

12) すべてを信じる

☆情け深く、疑いや悪意をもたない

13) すべてを期待する

☆だれをも絶望させず、希望へと導く

☆希望は、はかない夢にではなく、真理に基づく

14) すべてを耐え忍ぶ

☆用語は「耐える」、「忍ぶ」の意

☆耐えることですべてを征服し、変えることを示唆

☆「忍従」はすべての成功への鍵

→テモテ第二2:12

: 8-10「**愛は決して絶えることはありません…異言ならばやみ…知識ならばすたれます…**」:

\*賜物は限られた継続期間の間だけ有効、愛は神の本質なので、永遠

## 聖書

### すたれる、やむ

- ☆二つのギリシャ語動詞、どちらも、預言、異言の終焉を告げている
- ★私たちの知識、預言は不完全で、御国に入るまでこの状態は続く
- ★主が再臨されると一預言、異言、知識—はすたれる

: 11 「私が…おとなになったときには、子どものことをやめました」 :

- \*パウロ、未熟、成熟を対照させて語っている
- \*御国、成熟が、信徒の目標！

: 12 「…鏡にぼんやり映るものを見えています…完全に知ることになります」 (下線付加) :

- \*使用ギリシャ語は、謎めいて、不可解な、の意
- \*神の知識は初めから完全、完成している
- \*永遠とは引き続く、神との交わり

: 13 「こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛です…」 (下線付加) :

### 信仰

☆神と私たちとの関係の基礎、「人が神の子どもとなる」唯一の道

### 希望

☆永久の現実

☆神と神の真理に基づいた未来の確証

### 愛

☆神は愛、愛はすべての基

## 14章

### 異言

☆神への語りかけ、自分自身を霊的に啓発、教化する

### 預言

☆人に向かって話し、神の民、一教会—を啓発、教化する

### コリントの教会の背景

- ☆「ワインの神デュオニソス」、「音楽、預言の神アポロ」信仰は中心的カルト
- ☆異端では、特に女性が神がかり的に異言を發し、礼拝、賛美をリードするのが常
- ☆教会にも「靈知」、異端的なものが多く混入、霊的な個人的体験、神々との一体感追及の傾向
- ☆真理と偽りの共存が教会に広く浸透
- ☆悪に邪魔をさせない防御策、  
—善悪を見分ける基準を提示し、「御国の子どもたち」に正しい方向づけ—の必要

### 1-19節

- ☆神からの真の「異言」と神がかり的な異端の異言との完全な違いを教示
- ☆教会は「預言」による方向づけが必要
- ☆パウロ、「異言」を御霊の賜物として明確に認識
- ☆御霊の実、—「愛」—は、賜物よりもっと重要
- ☆信徒は御霊の賜物を求める必要
- ☆賜物の目標は啓蒙
- ☆コミュニケーションの欠乏は、愛の欠乏

: 16 「…異言を知らない人々の座席についている人は…」 (下線付加) :

- \*探究者、23節の「初心の者」

: 18 「私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝していますが」 :

- \*パウロ、経験者の立場から意見を提示

: 19 「教会では、…わたしの知性を用いて五つのことばを話したいのです」 (下線付加) :

- \*五つの言葉で構成される簡潔な文
- \*才能があるより、役に立つほうが好ましいと、パウロ